

いちじく・露地栽培（品種：柘井ドーフィン）

長生農林振興センター

1 地区名（集団名）

長生郡睦沢町（睦沢町いちじく生産組合）

2 栽培戸数、面積、収穫量又は出荷量、出荷先又は販売方法

- (1) 栽培戸数 10戸（うち1戸）
- (2) 栽培面積 90a
- (3) 収穫量又は出荷量 1,500kg（系統出荷分）3,000kg（直売等）
- (4) 出荷先又は販売方法 県内市場及び直売所

3 ちばエコ基準達成状況

区 分	実施状況	ちばエコ基準
化学合成農薬(成分回数)	5回	9回
化学肥料（窒素成分量）	2.0kg/10a	8kg/10a

4 事例のあらまし

睦沢町では、町の特産品の一つとしていちじくのブランド化を推進しています。

その一環として、1名の生産者が、ちばエコ農産物栽培基準での栽培に試験的に取り組みました。

病虫害防除では耕種的防除等予防に努め、施肥ではたい肥投入を中心にするなど栽培技術に関し工夫を重ねました。

その結果、化学合成農薬の使用回数は5回、化学肥料由来の窒素成分は10a当たり換算で2.0kgと、ちばエコ農産物栽培基準内での栽培が可能であることが実証できました。

栽培ほ場で生産されたいちじくは、直売先の道の駅（つどいの郷 むつざわ）を訪れた消費者から食味に関して、糖度と酸味のバランスが良いと、高い評価を受けています。

5 背景・動機

睦沢町では直売向け農産物栽培講習会を平成14年度から開催してきました。平成15年10月に市原のいちじく生産者を視察したことがきっかけとなり、組合を結成し現在に至っています。

本組合の特徴は、生産希望者を募り、栽培開始前から組合を結成し、視察や栽培講習会、苗木の共同育苗などを計画的に進めてきた点にあります。

平成16年の栽培面積は60a、平成17年9月から出荷が始まりましたが、平成17年から18

年の冬期に寒害により多くのほ場で枯死する枝が多くみられました。しかし栽培者の熱意により、平成18年から地元直売所で販売し、平成19年からは系統出荷による市場への出荷も開始しました。

当組合は、いちじく産地としては後発のため、有利販売につながる方法を模索しています。その一つとして、平成20年から、ちばエコ農産物栽培基準での試験栽培に取り組むことにしました。ほ場巡回や栽培講習会では、「少しでも良い品質のいちじくを栽培しよう」、「全員の技術レベルを平準化し、高めよう」を合言葉に、肥培管理、病虫害防除等の作業について、熱心に検討しています。さらに、未だ一般に産地化されていない新しい品種の栽培をめざし、消費者アンケートによる人気のある品種の絞り込みや、試験栽培などを県農林総合研究センターの協力を得ながら行なっています。



「つどいの郷むつざわ」でいちじく試食調査

6 栽培方法

(1) 土づくり

基肥は、1月下旬に牛ふんたい肥を2 t / 10a投入し、化学合成肥料由来の窒素成分に頼らない土づくりを行いました。

また、土壌酸度の調整のため、苦土石灰を100kg / 10a投入しました。冬期の土づくりは土壌改良を主目的に行いました。

追肥については、生育状況を見ながら、全窒素量6 kg / 10aを2 ~ 3回に分けて施用しますが、肥料は有機化成を使用し、有機態窒素を投入するように努めた結果、化学窒素分量は2 kg / 10aで栽培できることが実証されました。

(2) 冬期管理

○ 防寒対策

樹井ドーフィンには寒さに弱く、植え付けて5年くらいは、主枝に稲わらを厚く巻くなど防寒対策を万全に施します。

また、敷きわらやマルチなどは地熱を遮断し、凍霜害を助長するおそれがあるので、除去しました。



いちじく防寒対策講習会

○ 剪定

結果枝の剪定は、2月下旬から3月上旬にかけて行い、基部から2芽を残して剪定しました。

幼木は、新梢の剪定も必要です。その時期は、防寒資材を除去した後、枯死の状況を確認しながら横芽で剪定しました。

(3) 芽かき・誘引

平年であれば、4月中旬に入ると出芽が見られてきますので、5月に入ったら芽かき作業を行いました。

作業は、3回程度に分けて行い、全体のバランスを見ながら今年の結果枝を決定しました。

結果枝が伸長してきたら誘引を行い、誘引間隔は最低45cmを確保しました。

ア 栽培管理

作業名	実施年月日
前作収穫終了	平成19年11月30日
収穫開始	平成20年9月1日
収穫終了	12月4日

イ 使用資材

(ア) 土づくり・施肥等

(10aあたり)

使用銘柄 (N:P:K)	実施年月日	施用量	全 N	化学N
牛ふんたい肥	平成20年1月20日	2.0t		
苦土石灰	平成19年12月18日	100kg		
いちじく専用有機化成 (6:5:4) 元肥	2月20日	100kg	6.0kg	1.0kg
いちじく専用有機化成 (6:5:4) 追肥	6月8日 7月20日	100kg	6.0kg	1.0kg
合 計			12.0kg	2.0kg

(イ) 病虫害防除等

使用農薬	対象病虫害	実施年月日
ガットサイドS	カミキリムシ類	平成20年 5月17日
園芸用キンチョールE	クワカミキリ	7月21日 8月25日
※コサイドボルドー	疫病	8月 8日
※バイオリサカミキリ	カミキリムシ類	6月5日設置 7月15日追加設置
アミスター10フロアブル	そうか病・疫病	8月30日
ランマンフロアブル	疫病	9月23日

※印は、「化学合成農薬に含めない農薬」

今年度は、キボシカミキリの防除としてバイオリサカミキリを設置しましたが、本年の被害率が全般的に少なかったため効果を判断できませんでした。

7 今後の展望等

今回のちばエコ農産物栽培基準での試験栽培により、基準内での栽培が実証できたので、組合として平成21年から全員で取り組む方向が、確認されました。

今後も睦沢産いちじくのPRの効果的な手段として、ちばエコ農業を普及推進し、環境にやさしく安全・安心な「睦沢産いちじく」の産地振興を図ります。